

# 【事業実績】

## 1. 地域の医療・福祉施設、行政機関との連携事業

### (1) 認知症患者とその介護者を対象とした鑑賞プログラムの開発と実践

香椎丘リハビリテーション病院（福岡市東区下原）との連携事業として、美術館と病院と協議しながら、入院中の患者（軽度の認知症患者を含む）を対象とした鑑賞プログラムの開発と実践を実施。「展覧会案内型」と「所蔵品活用型」の2タイプのプログラム2種類ずつ準備した。参加者の気持ちの変化を評価するために、フェイススケールによるアンケートと、感情プロフィール検査 POMS2 を用いた。



#### 展覧会鑑賞型鑑賞プログラム 展覧会「美の鼓動・九州-たいせつなあいまいさ-」を楽しむ

**日時** 2023年6月16日（金）14:00～16:00（2回に分けて実施。1回約40分）

**場所** 九州産業大学美術館、香椎丘リハビリテーション病院（Zoom と対面）



モニター上だけでなく、出品作家の作品を会場に持ち込み鑑賞した。

フェイススケールの結果			フェイススケールの変化									
(1. とても明るい気持ち～5. とても暗い気持ちの5段階)			(単位：名)									
	実施前		実施後		実施後					合計		
	人数	割合	人数	割合	1	2	3	4	5			
1	1名	( 10.0% )	2名	( 20.0% )								
2	6名	( 60.0% )	6名	( 60.0% )	1						1	
3	3名	( 30.0% )	2名	( 20.0% )		5					6	
4	0名	( 0.0% )	0名	( 0.0% )			1	2			3	
5	0名	( 0.0% )	0名	( 0.0% )							0	
計	10名	( 100.0% )	10名	( 100.0% )							0	
平均点	2.20		2.00									
						合計	2	6	2	0	0	10

下線数字は「明るい」方へ変化  
太字は変化なし

#### 所蔵品活用型鑑賞プログラム 写真と版画でバードウォッチング

**日時** 2023年12月26日（火）14:00～16:00（2回に分けて実施。1回約40分）

**場所** 香椎丘リハビリテーション病院



鳥の写真や版画を鑑賞後、パステルを使って、ステンシル作品を制作した。



フェイススケールの結果			フェイススケールの変化									
(1. とても明るい気持ち～5. とても暗い気持ちの5段階)			(単位：名)									
	実施前		実施後		実施後					合計		
	人数	割合	人数	割合	1	2	3	4	5			
1	2名	( 18.2% )	3名	( 27.3% )								
2	4名	( 36.4% )	6名	( 54.5% )	1	1					2	
3	5名	( 45.5% )	2名	( 18.2% )		2					4	
4	0名	( 0.0% )	0名	( 0.0% )			3	2			5	
5	0名	( 0.0% )	0名	( 0.0% )							0	
計	11名	( 100.0% )	11名	( 100.0% )							0	
平均点	2.27		1.91									
						合計	3	6	2	0	0	11

下線数字は「明るい」方へ変化  
斜体数字は「暗い」方へ変化  
太字は変化なし

2か月に1回（6月、8月、10月、12月）のペースで、病院での鑑賞プログラムを4回実施した。POMS2による評価では「疲労-無気力」、「緊張-不安」、「総合的気分状態得点」に有意差が認められた。緊張や不安、疲労感や無気力が軽減され、ポジティブな感情へ変化したと考えられる。

### (2) プログラム開発にあたっての先進事例の調査

博物館処方箋の取り組みを実践している国立台湾博物館と台北市立聯合病院を訪問し、プログラムの視察と、交流シンポジウム、関係者からの聞き取りを行った。

**日程** 2023年11月26日（日）～29日（水）

**場所** ①国立台湾博物館、②JUST4U、③台北市立聯合病院



### (3) 博物館と医療・福祉機関の連携に係る研究会の開催

オンラインによる国際研究会を開催。九州産業大学美術館と福岡市美術館、国立台湾博物館の具体事例から、博物館と医療・福祉の連携の在り方について考える機会とした。

#### 高齢者のための博物館利用と地域社会における博物館の新しい役割について考える

日 時 2023年12月15日(金) 20:00~22:15(日本時間)

場 所 福岡、台北、ニューヨーク (Zoomを使用)

参加者 医療・福祉施設関係者、博物館関係者、行政機関、財団関係者、会社員、学生(合計28名)

登壇者 中込潤(九州産業大学美術館)、藤洋介氏(香椎丘リハビリテーション病院)、崎田明香氏(福岡市美術館)、黄星達氏(国立台湾博物館)、キャロリン・ハルピン=ヒーリー氏(Arts&Minds)



#### 参加者の感想

文化・アートを通じて、美術館・博物館・医療施設といった分野や、地域を超えて、当事者のより良い生活を生み出す可能性を強く感じました。

## 2. 地域の公民館との連携事業

### (1) 遠方への外出が困難な地域住民を主な対象とした、美術館と公民館を結んでのオンライン鑑賞会の開催

7月と9月に開催中の展覧会の様子をオンラインで伝える催しを公民館で行った。作品を公民館に持ち込み、画面上だけでなく、実物も鑑賞できるよう工夫した。

#### 「ミントデザインズ大百科『Mintpedia』」オンライン鑑賞会

日 時 2023年9月17日(日) 13:30~14:30

場 所 香住丘公民館、香椎東公民館 (Zoom使用)

参加者 香住丘公民館11名、香椎東公民館5名、自宅4名、九州産業大学美術館3名、香椎丘リハビリテーション病院2名、学生1名(合計24名)



#### 参加者の感想

【60代女性】実際の生地を触れたのがよかった。

【70代女性】初めての参加でしたが、全てが目からウロコの感覚でした。

## 3. 他の博物館との連携事業

### (1) 高齢者を主な対象とした多様な博物館体験の機会を創出するアートバスツアー、ワークショップの開催

大学周辺から福岡市美術館に行くバスツアー。香りをテーマに福岡市美術館学芸員の案内で作品鑑賞をしたり、大分香りの博物館学芸員から香りに関する話を聞いて、匂い袋と文香を制作したりした。

#### アートバス 香りで旅する美術館

日 時 2023年12月1日(金) 9:30~12:00

場 所 福岡市美術館

参加者 14名(九州産業大学美術館周辺にお住いの65歳以上の方が対象)

講師 大津留聡氏(大分香りの博物館)



#### 参加者の感想

【70代女性】香りを考えながらの美術という新しい視点を知ったこと。心も落ち着いて良かったです。

【80代男性】自分の香りができました。若者に戻ったみたいです。